

日本のカンキツ産業に新しい芽を！日本初！？国産グレープフルーツの販売を開始しました。

【要旨】

この度、観音山フルーツガーデン（有限会社柑香園：和歌山県紀の川市）は、国産では初かもしれない国産のグレープフルーツの販売を開始致しましたので、ご報告させていただきます。

果樹の大産地和歌山県は、多くのカンキツを栽培していますが、みかんの価格低迷や農業者の高齢化により、年々生産額が減ってきております。

そんな中、自給率がほぼ0%のグレープフルーツを日本で栽培し、皆様にお届けできないかと夢にみておりましたが、4年前、偶然の出会いから大阪府高槻市の教会様とご縁を頂き、そこに生えている原木のグレープフルーツと巡り逢いました。

「この樹が日本の果樹産業を救うかもしれない!？」と感じ、4年前にハッサクの樹に接ぎ木をして、4年目にして無事実を収穫でき、今回初収穫となりました。

このグレープフルーツが、より多くの日本の食卓にお届け出来ますよう、多くの農家さんとも協力していきたいと考えております。

国産グレープフルーツが、日本に出回るよう、和歌山の特産物にできるよう、引き続き栽培に取り組んでまいります。

概要



(1) 4年前、日頃お世話になっている方から、大阪府高槻市の教会の庭に、種から生えたグレープフルーツがあるというお話を聞き、その教会様からご承諾を頂き、国産のグレープフルーツを世に広めるといった目的のため、穂木を分けて頂きました。

そして、今年いよいよ初収穫となり、少しの数ではありますが、販売を開始することができました。

グレープフルーツを作ることによるメリットは、たくさんあると信じております。

- ・自給率が0%に近いグレープフルーツを生産することで、フルーツの自給率を上げられる。
- ・防腐剤・防かび剤が使用されていないグレープフルーツを、お届けできる。
- ・新鮮な状態のグレープフルーツを、ご提供できる。
- ・果樹王国和歌山県の有望な栽培品種となり、産地を盛り上げ、和歌山県を元気に、そして日本を元気に出来る。
- ・外国からグレープフルーツを運ぶ燃料を節約でき、環境に優しい。

また、同じようにデメリットもございます。

- ・寒波の襲来があった時に、樹が枯れてしまわないか？
- ・かいよう病（実が黒くなる病気）に弱いため、低農薬で綺麗な実ができるか？

引き続きフルーツ産業を盛り上げていくべく、努力してまいります。

お問い合わせ先 開墾明治四十四年「果物を 果物語りて 届けます」

URL : <http://www.kannyonama.com>

会社情報 観音山フルーツガーデン（有限会社柑香園）代表取締役 児玉典男

担当者：児玉芳典

〒649-6523 和歌山県紀の川市下丹生谷557

TEL : 0736-73-4095 FAX : 0736-73-3210

【事業内容】

- ・物語のあるフルーツのご提供（観音山レモン、観音山みかん等）、農業体験の実施、農業研修生の受け入れ